

盗撮の現状

- ✚ インターネット、新聞紙を賑わす有名人・芸能人の盗撮画像。アイドル・女優の着替えシーンや入浴シーン、トイレ画像など例を挙げればきりがありません。しかし、盗撮の被害に遭われるのは何も有名人・芸能人に限りません。
- ✚ 盗撮は浴場、女子トイレ、更衣室など女性が肌を露出する場所で一般女性を対象にも行われています。
- ✚ むしろ、その数だけを見れば一般女性を対象にしたもののほうが多いのです。さらに、インターネットなどでは「〇〇銭湯盗撮画像」といった実名を出した販売まで行われています。
- ✚ しかし、盗撮はその名のおり「盗み撮る」わけですから被害者の方であってもそれと気付くことが少なく、本人の知らないところで盗撮画像が第三者の目に触れる事態になっているのが現状です。
- ✚ そういった場所で盗撮を行う人間は、盗撮マニアと言われる性的嗜好を理由にする者と、ビデオ等の製作者に大別されます。盗撮に使用される機器は年々小型化・高性能化しているため、小スペースで仕掛けることが可能になっている他、女性を雇い入れるなど手口も巧妙化し、盗撮をより気付きにくいものになっています。



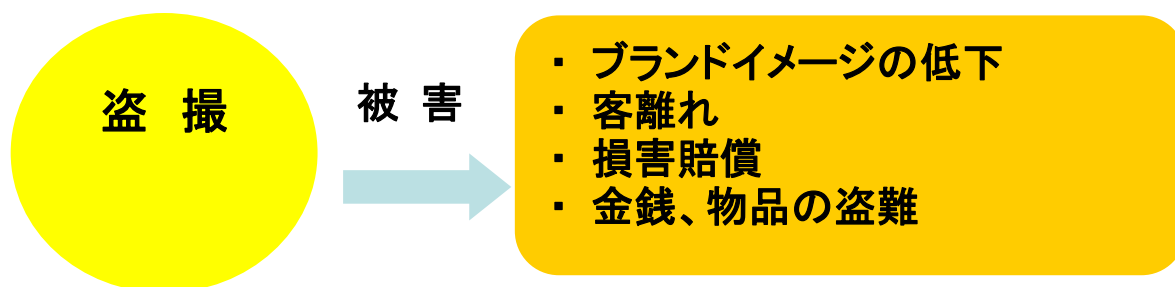
浴場での盗撮について

- ✚ 浴場は不特定多数が出入できる場所のため、いろいろな盗撮方法がとられてきました。
 - ・ 小型ビデオカメラを持ち込み、対象女性を追いかけるやり方
 - ・ 目立たない場所にビデオカメラを置き、後でそれを回収する方法
 - ・ そして現在では電波式の画像送信機能を持ったカメラを設置し、別の場所でその画像を受信する方法が主流となっています。
- ✚ なぜ、電波式のカメラが主流になっているのかというと、カメラの回収時に一番危険を伴うからです。
- ✚ カメラを回しているところや、設置したカメラを回収するところを見つかったら、言い逃れをすることはできません。そのため、盗撮犯はその危険を回避するために別の場所に画像を電波で飛ばし、自分の安全を確保するのです。



盗撮による被害

- 盗撮というと女性を対象にしたものというイメージをお持ちの方が多いため、企業・法人関係者の方は対策を軽視する方がいらっしゃいます。
- しかし、暗証番号入力キーを使用している事業所でその暗証番号が漏れてしまった場合、侵入は非常に容易です。
- セキュリティシステムを利用していても警備員や警察が駆けつける前に侵入者は用を済ませ逃亡してしまいます。
- また、女性を対象にした盗撮であってもそれが発覚した場合、従業員の関与が疑われたり、実際そうではない場合でも、悪いうわさが広がり客離れを引き起こすことに繋がります。また、被害者からの損害賠償なども考えられ、注意が必要です。



盗撮への対策方法

- 定期的に調査を行い、予防・早期発見に努めることも大切ですが、日常的な対策をしっかりと行わなければなりません。ご自身の事業所で盗撮の対象となり得る場所については、専従担当者を定めるなどして定期的にチェックをすることです。
- 例えば、トイレなどは定期的に清掃とアメニティのチェックをされていることと思います。そこに、盗撮対策のチェック項目を加え点検をすることで、ずいぶん違います。また、従業員の意識(モラル)も問題になりますので、モラル教育や対策のための知識といった部分もフォローしていく必要があります。

1. セキュリティポリシーの作成

施設にあわせたチェック項目・システム・体制等を作成し、継続的に盗聴・盗撮に対して予防・対策を行えるようにお手伝いします。

2. 定期的な訪問・調査

定期的に訪問し、盗聴・盗撮に対してのセキュリティ体制に不備はないか、セキュリティポリシーは守られているか等のチェックをいたします。また、定期的に調査を行い、継続性を保ちます。

3. 専従者の教育とアフターフォロー

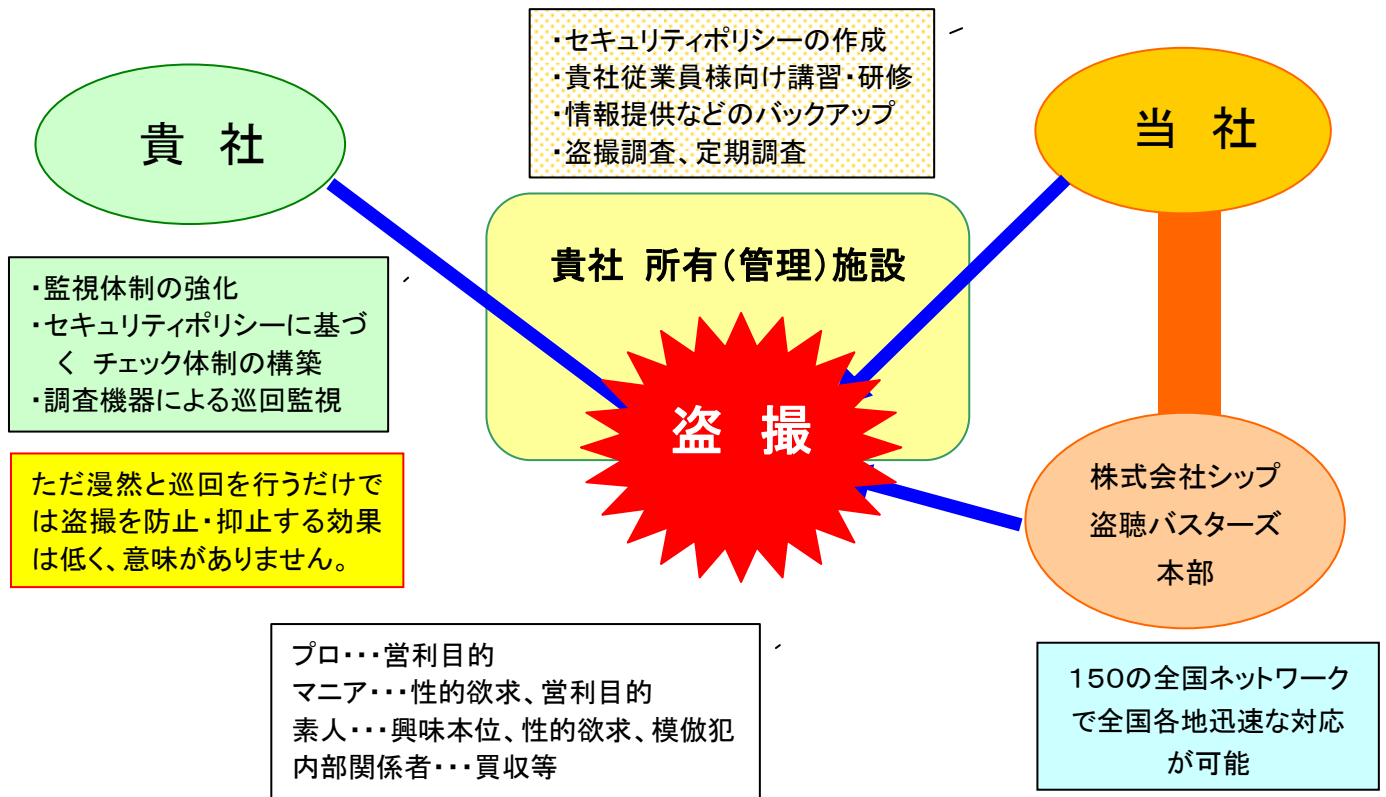
ご担当者、従業員様の方に盗聴・盗撮対策の教育を行います。教育後も情報の発信や専用相談窓口などでバックアップしていきます。

4. セキュリティ体制の監査

盗聴・盗撮対策は万全か？従業員のモラルや管理体制は？専門家の目から盗聴・盗撮に対するセキュリティ体制を監査し、不備項目を洗い出します。

盗撮防止に対する取り組み

- 貴社ご担当者(従業員)様だけでなく、当社も一緒に盗撮防止に対して取り組みます。
また、貴社従業員様の取り組みも、盗撮防止に対するしっかりとした意識・知識・技術を持って行うのとそうでないものとはその効果が全く異なります。



お問合せ・お申込先

- ◇ 不動産仲介企業やハウスメーカーが「盗聴・盗撮調査サービス」を積極的に取り入れ始めています。
- ◇ 以前は、「お客様に『盗聴器付きの部屋を貸すのか(家を売るのか)！?』と思われるのが嫌だからうちでは扱えない」とむげに断られていました。
- ◇ しかし、今では「盗聴調査済み」を売りにして住宅を販売されていたり、賃貸物件の入居時にお客様に調査サービスをお勧めされていたりします。
- ◇ 全ての建物に盗聴器が仕掛けられている可能性がある以上、臭いものに蓋をすることや見て見ないふりをするよりも事実は事実としてしっかりと認識し、それに対して対策を施す企業こそがお客様の支持を得られることに気付いていただいたのだと思っています。
- ◇ 同じようにトイレや更衣室、浴場などは今どの施設が被害に遭ってもおかしくない状況です。
- ◇ だからこそしっかりとその事実と向き合い対策を施すことが、安心・安全の提供という付加価値を生み、結局はお客様の支持を得ることに繋がるのではないのでしょうか。



盗聴バスターズ 正規代理店
セキュリティサポート 株式会社アリアケ
TEL:0797-32-9977 FAX:0797-32-9978
e-mail: info@KK-ariake.com